

会議の名称	令和5年度 第1回川越市文化財保護審議会
開催日時	令和5年7月28日(金) 13時30分 開会 17時30分 閉会
開催場所	教育委員会室
議長(会長)氏名	山野 清二郎(会長)
出席者(委員)氏名(人数)	大久根 茂、羽生 修二、馬場 弘、牧野 彰吾、水口 由紀子、松尾 鉄城、水上 嘉代子、山野 清二郎、小久保 徹、佐藤 啓子(10名)
欠席者(委員)氏名(人数)	林 宏一 (1名)
事務局職員職・氏名	課長 齊木 隆、副課長 天ヶ嶋 岳、主幹 井口 信久、副主幹 宮原 一郎、副主幹 田中 敦子、主査 新井 寿生、主事補 井上 堯之
	1 開 会 2 委嘱書交付 3 正副会長選出 4 正副会長挨拶 5 会議の傍聴について 6 議事 <報告事項> (1) 前回の会議について (2) 令和5年度事業について (3) 河越館跡関連事業の今年度の予定について (4) 蔵造り資料館の現状変更について (5) 川越市文化財保存活用地域計画について
会議次第	<審議事項> (1) 加藤家住宅の指定解除について (2) 山車の指定について 7 その他 8 次回の予定 9 閉 会
その他	

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1. 開会 文化財保護課長</p> <p>2. 委嘱書交付教育長による交付および挨拶 教育長による交付および挨拶</p> <p>3. 正副会長選出 委員互選の結果、前任期に引き続き会長に山野委員、副会長に松尾委員を選出した。</p> <p>4. 正副会長挨拶 山野会長、松尾副会長の挨拶。 引き続いて他委員の紹介と挨拶。</p> <p>5. 会議の傍聴について 傍聴希望者あり。(1名)</p> <p>6. 議事 <報告事項></p> <p>(1) 前回の会議について 前回の会議要旨を参考に配布した。</p> <p>(2) 令和5年度事業について 主に文化財の保存及び団体の活動にかかる補助金について説明。</p> <p>(3) 河越館跡関連事業の今年度の予定について 令和6年度の道路整備に向けて、令和5年度については12月までに発掘調査を完了させるスケジュールで進めている。 山王塚古墳について、令和5年の3月20日、官報告示を受け正式に山王塚古墳が国の指定史跡になった。これは川越市で言えば河越館跡に次いで2件目になる。啓発事業の一環として、見学会を7月21日の金曜日と22日の土曜日の2日間行い、1日目の21日は97名で、22日目の20日は105名、計2日で202名の方に参加いただいた。 今後は整備基本計画の策定に向けて動き出す予定。</p> <p>(4) 蔵造り資料館の現状変更について 今回の現状変更について、指定時とは少し異なるものになるということで、特にこの耐震性を高めるために、耐震の補強壁の新設や、屋根を軽量化するために一部現況を変更する箇所があることと、工事は今年から4年間で行われる予定である旨を事務局より説明。</p>

(5) 川越市文化財保存活用地域計画について

8月の下旬頃に文化庁の方に計画を提出し、12月の中旬に認定を受ける予定。また、現在パブリックコメントという形で、市民の皆様に計画案が公開されており、意見を受け付けているところでもある。計画案の中で財政的な部分があまり書かれていない事について、委員より指摘があった。その他の意見も含め反映できる部分は反映させる方向で進めていく。

<審議事項>

市指定文化財の指定解除について

昨年度に火災のあった市指定文化財について、基礎的な図面類がないことから、まず2階部分の図面作成を中心にした調査を実施した。この建造物は、指定文化財として修理するためには、燃えた材の強度の問題、建築基準法上による問題など、さまざまな理由によって困難であったため、最終的に解体することとなった。そのため、残りの1階部分の図面を作成する調査を実施した。審議結果として、現在は解体が終わり、更地となっていることから指定解除となった。

山車の指定について

建造自体は戦後のものだが有形民俗文化財として考えると、指定にできる可能性はあると思われる。しかし、伝統的技法を用いた山車から一步、時代が進んだところにある今回の山車について、他の山車も含め十分に精査した上でないと、指定の検討対象として現時点での指定は時期尚早であると考えられる。ただし、将来的に指定の可能性もあることから、指定文化財候補とした。

7. その他

川越市の文化財改訂について、今後、カルテを整えていく作業を今年度の目標にしている旨を事務局より報告した。

8. 次回の予定

次回は令和6年2月2日（金）を予定。

9. 閉 会